

❖ 望月弘子先生を偲ぶ ❖

山梨県看護協会名誉会長

故 望月弘子儀

令和2年6月29日 享年90歳

慈燈院愛育弘智大姉



実行委員長 の言葉



山梨県看護協会名誉会長 望月弘子先生を偲んで…

今年、令和3年(2021年)は、看護協会創立75周年・現会館(看護教育研修センター)竣工20年となります。

昨年6月29日にご逝去されました望月弘子先生(戒名 慈燈院愛育弘智大姉さま)の一周忌になります。昨年11月3日に偲ぶ会を執り行い、多くの方々と望月先生の功績・お人柄・お教えを偲び、深く心に刻み込みました。

地域・病院・施設・教育等の多岐に亘る看護の現場で、今を生きる看護職(保健師・助産師・看護師・准看護師)に望月先生をさらに深く知っていただき、後世に語り繋がられますように、この追悼頁をお届けします。

看護協会(看護教育研修センター)内、リフレッシュルームに望月弘子名誉会長のお姿、机、座られた椅子、アルバムなどを展示したコーナーを設けました。

皆さまとともに後世へ語り継いでいきたいと存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。

望月弘子 経歴

生年月日：昭和5年11月4日

没：令和2年6月29日（享年90歳）

学歴

昭和22年3月 山梨県立山梨高等女学校 卒業
昭和23年3月 山梨県立女子厚生学院保健婦学科卒業 助産婦学科 修了
昭和31年3月 国立公衆衛生院正規看護学科 卒業

職歴

昭和23年4月 山梨県衛生部公衆衛生課勤務
昭和24年4月 保健婦5ヵ月養成講習会専任教員
昭和28年8月 山梨県甲府保健所保健婦
昭和30年5月 山梨県立高等看護学院 保健婦学科専任教員
昭和34年8月 山梨県厚生部医薬課看護母子係
昭和38年5月 山梨県日下部保健所普及係長
昭和40年9月 山梨県大月保健所普及係長
昭和42年5月 山梨県小笠原保健所普及係長
昭和45年4月 山梨県甲府保健所普及係長
昭和48年4月 山梨県立高等看護学院教務主任
昭和54年4月 山梨県厚生部医薬課副主幹課長補佐・主幹課長補佐・衛生指導監
昭和61年4月 山梨県立高等看護学院副院長
昭和63年10月 山梨県厚生部参事・高等看護学院副院長事務取扱
平成元年3月 山梨県定年退職
平成5年4月 山梨県厚生部医薬課看護短大・看護大学設置準備室非常勤嘱託

民間団体歴

昭和25年4月 日本看護協会保健婦部会山梨県支部書記長
昭和54年4月 日本看護協会保健婦部会山梨県支部副支部長、支部長・顧問
昭和48年3月 山梨県看護協会常任理事
昭和59年5月 日本看護協会保健婦職能委員長
昭和61年6月 山梨県看護協会理事
昭和63年5月 日本看護協会保健婦職能理事
平成1年4月 山梨県看護協会事務局長
平成1年6月 山梨県看護協会専務理事
平成5年5月 日本看護協会副会長
平成5年6月 山梨県看護協会会長
平成6年12月 日本訪問看護振興財団理事
平成15年6月 山梨県看護協会名誉会長・医療法人笹本会顧問
昭和41年10月 山梨県愛育連合会参与
昭和58年5月 恩賜財団母子愛育会推進本部参与

その他・公職・審議会歴 多数

受賞歴

昭和45年4月 恩賜財団母子愛育会会長表彰
昭和51年5月 日本看護協会会長表彰
昭和60年11月 大同生命厚生事業団医学研究学術賞
昭和62年5月 厚生大臣表彰(看護事業功労)
平成4年10月 山梨県知事表彰(高等看護学院創立40周年)
平成5年4月 恩賜財団母子愛育会総裁表彰
平成10年11月 社会貢献者賞
平成13年11月 県政功績者表彰
平成14年10月 甲府市市政功労者表彰
平成16年4月 旭日小綬章受章
令和2年10月 正六位を授かる



平成16年4月29日 旭日小綬章受賞



先生の好きな花「矢車草」

看護協会の詩

作詩：望月 弘子（昭和23年12月5日）

<p>二</p> <p>病める身かばう看護婦も 病魔を防ぐ保健婦も 産土の神助産婦も 競いて集える我が協会</p>	<p>一</p> <p>平和の日本の礎を 医療の真心で 築くまでしこうるわしく 集いて咲けるわが協会</p>
<p>四</p> <p>大和おみな雄々しくも 担いて立ちし大使命 いざや進まん手をとって 行くて輝く我が協会</p>	<p>三</p> <p>互いに修行錬磨して 知識を廣め技術を磨き 明日の日本を朗に 導き集わん我が協会</p>

望月弘子先生のお言葉

私を看護協会活動にかりたてたもの

人は何かのきっかけが運命的な出会いになることがある。昭和23年、敗戦によるGHQの指導により、日本の社会的地位の低かった看護制度の画期的な改革があり、保健婦助産婦看護婦法が制定された。そのことにより、昭和24年に、県衛生部医務課に保健婦助産婦看護婦係が設置され、保健婦の係長が発令された。

この年、私は保健婦として県に就職した。したがって、日本の看護制度と共に歩んできたことになる。私は、衛生部の所轄である県立女子厚生学院と保健婦規則第8条に基づき5か月保健婦養成講習会を担当した。当時は保健師の地位は最低で、だれにも話せない憤りが私を保健師活動にのめりこませ「看護が社会的に評価される」その日のために挑み続けた改革の年月であった。

これからの看護協会運営は会員の自治で…

新看護教育研修センターをみんなの力で建てました。看護の社会的評価を求めて挑戦し続けてきた歳月。それは自己の価値観への挑戦の日々でもありました。そうした中で、今後に向けて考えてみると、看護の自立を支えるフィロソフィーをもつこと、看護の思想を具現化することは最善の配慮の中でその人にあった良質の看護が提供できること、であると思うのです。

また、各人の持てる力を引き出しお互いが育てられる環境を作ることも大切な要素だと思います。看護教育研修センターの運営も、これこそ会員の自治が基本です。

私は、多くの会員や関係者に支えていただき育てられ、今日を迎えることができました。

若きみなさまに一言。感性がみずみずしい時に、本物に触れてほしいと常々考えております。

平成15年9月27日

山梨県看護協会会長退官記念講演

生き方のモットーは、信・愛・敬

私は、長い間「看護の社会的地位を高めたい」という一心で活動してきました。

今、社会の変化は目まぐるしく、看護への期待も多様化・複雑化し、困難性も増えています。そのような状況の中、改めて「看護とは」について考えてみました。私は幼い頃から母に「世の為、人の為になるような人間になるように」と言われて育ちました。

その頃は、よく理解できずにただ母の日ごろの生活の仕方や、人々への対応の様子を見ていただけでした。長ずるに従い、母の心の基にあったのは、人間に対する信頼であり、愛であり敬意であったのだと理解するに至りました。世の中がどのように変化しようとも「看護」は、その人に向かい合い「信・愛・敬」という人間への目差、つまり心の姿勢を核にして、科学的根拠に基づいた確かな知識と卓越した技術を駆使して、問題解決へ向けて共に活動していくことであると考えています。着実な活動に期待しています。

看護協会ニュース 令和2年新春号 名誉会長挨拶

看護協会NEWSバックナンバー Vol.113(H31.1)・Vol.110(H30.1)もご覧ください。ホームページからでもご覧になれます。

望月弘子先生賛歌

望月弘子先生の活動をあげれば枚挙にいとまがありませんが 特筆すべきは

- 社団法人 山梨県看護協会を創り、育て、発展させたことでしょう。保健文化賞を受賞した活動です。
- 昭和51年と平成13年の二回、看護会館を建設するという偉業も成し遂げました。

常に時代の要請に応え、時代に先鞭をつけた、先見性のある活動です。私たち、山梨県下の看護職員に誇りと拠り所を与えてくれるものでした。

「私がしなくて誰がする…」

先生の生涯をつらぬいている強い信念です。

テレビや映画を観て涙する心
弱い人、小さきものに寄せる熱い心
先生の中で、それらは全て同根です。

だからこそ、
先生の周囲に人は集まり、心をつ一つにして
不可能が可能になる大きなエネルギーを
作り出すのです。

先生のことを考えるとき、私はいつも
高村光太郎の詩「道程」の一節を思い出します。
一僕の前に道はない。僕の後に道は出来る一

常にバイオニア！

進み、創り出し、人を導く…

私の尊敬する望月弘子先生です。

平成15年9月27日

「望月弘子前会長への感謝のつどい」に寄せて
安達 弘子 (当時：山梨県看護協会 監事)

望月弘子名誉会長のコーナー



当協会2Fリフレッシュルームに望月弘子先生のご功績がわかるアルバムや写真など、じっくりと手にとってご覧いただけるコーナーを設けました。どうぞご来館ください。

望月弘子先生を「偲ぶ会」

当協会名誉会長 望月弘子儀、令和2年6月29日 89歳の生涯を閉じられ、7月5日に家族葬が執り行われました。望月弘子先生を偲び、令和2年11月3日、アピオ甲府本館にて、望月弘子先生を「偲ぶ会」を執り行いました。第一部式典へは県内外から親交のあった皆様170人の参列をいただき、午後の一般献花式へは、約200人が献花に訪れてくださいました。



送る言葉 県内外の親交のあった皆さまから、心温まる感動の送る言葉を頂戴しました。



清水 嘉与子様
公益財団法人 日本訪問看護財団理事長
元参議院議員

清水嘉与子理事長は、「体調を崩されてお目にかかれなくなった後も、山梨のおいしい果物を贈ってください。お礼の電話をするといつも明るい声で、元気をもらっていた。安らかにとお休みください」と述べられました。



久しぶりに紅葉の甲府に参りましたけれども、それが先生とのお別れの会、とても寂しいです。先生と初めてお会いしたのは、私が厚生省で看護行政をやっている時でした。先生は県の看護行政を担当しておられた、昭和50年代の話ですね。当時、日本の看護というのは、まず質よりは量、足りない、足りない、それが大きな社会問題になっていました。臨床の現場は看護師よりも准看護師がずっと多くて、准看護師に支えられているという時代でした。

厚生省がやっと看護を中心に受給計画を作ろう、看護政策を作ろうということになって、一番問題だったのは、准看護師の在り方でした。どこの県の係長も医師会の先生方との関係で非常に問題があったのですが、先生はそういう時にでも、堂々と、堂々と、その問題を解決して、がんばっておられました。その姿がとても印象深く思われます。

その後、私は18年間、参議院議員をやりましたけれども、その間は、先生は看護協会の役員、あるいは、山梨県看護協会の役員として、大変お世話になりました。

研修会が終わるといつも先生は、今流れていた“星影のワルツ”、みんなで手をつないで歌って下さいましたね。今日、この参加されている人達も懐かしく思い出している人達がいっぱいいると思います。

日本の看護をグッと動かしてくださった先生の功績は訪問看護です。先生は山梨県の看護協会の役員として、知事さんに「訪問看護の制度化を早く」という要請をしてくださり、そして現実問題として、モデル事業を行い、そして山梨県で訪問看護を実際に進められました。この功績がみつめられて、保健文化賞も受けられましたよね。あの時の先生の笑顔、とても思い出しますよ。

平成6年に日本訪問看護財団ができました時に、先生は、その発起人として、理事として、がんばってくださいました。平成20年まで先生は、私達にご指導くださいました。

体調を崩されて、中々お目にかかれなくなった後も、先生からは、いつも盆暮れに、山梨県の美味しい“カキ”などを沢山送ってくださいました。今日いろいろお話してましたら、私も私もって人がいっぱいいたのですね。先生、大変でしたね。でもとってもありがとうございます。そしてお電話でお礼を申し上げると体調を崩していたにもかかわらず、いつも明るい声で元気をくださいました。先生からはいつも元気とエネルギーをいただいていた。ずっといただき続けたい。そういう先生でした。先生、本当にありがとうございました。どうぞ安らかにとお休みください。ありがとうございました。



南 裕子様

神戸市看護大学学長 元日本看護協会会長
元国際看護師協会 (ICN) 会長

南裕子学長は「導いてくれた大先輩。苦勞をしたときはいつも笑顔を思い出して励まされていた」と 遺影に語りかけました。

望月先生は、こんなふうに真面目な時も目が笑ってらっしゃる。そして口が大きく開いて破顔されて、「南先生、南さん」っていつもお声をかけてくたって、私を本当に導いてくださった。大事な、大事な大先輩であると心から感謝申し上げます。

望月先生に最初にお会いしたのは、先ほど写真の中に出てきた職能の委員長たち3人の南野先生、浅野先生、望月先生の三人の方と、私が副会長の時代でした。有田会長がいらっしゃって、丁度、介護保険制度の検討が始まっていた頃でした。

私は、先生が山梨で偉大な業績をもう積まれてきているということは、いろんな方から伺っていましたが、いつも目の前の先生は、私のような若輩者を暖かく丁寧な言葉で対応して下さい、ご意見をお聞きすると、地元へ深く根差したお仕事をされてきた方なのになって。私はその頃、グローバルにグローバルになって言っていたものでしたので、足元を見なければと思う思いが強くなっていったのを思い出します。

介護保険制度は、制度として、とても大事な制度でしたけれど、看護界にとってはいろいろ不自由なこともあり、そのこともあって看護協会では、有田会長の時も見藤会長の時もいろんなことから紛争がありました。意見の交換も激しくありました。その時、常務理事会の陰湿な雰囲気を変えてくださるのは、先生でした。先生のポツと投げたお言葉で、皆がフッと肩の力が抜けて本来の議論に戻ることができました。地に足のついた議論ができるようになりました。

私が会長の時は、協会の会長さんとして、山梨県看護協会の会長さんとして、いろいろとサポートもしていただきました。裏から、「南さん、あれはちょっと無理だよ」というようなこともおっしゃっていただきました。先生が無理ということは、本当に無理なのだな。だけど私は挑戦してみたいと思ったら、先生は「やりたかったら、どうぞやってごらんさい。前を開いていくことに対して、いつも後ろから応援するから」っておっしゃっていただきました。現場をよく知り、地元の看護師さんのことをよく知り、全国の看護師、保健師、助産師のことも職能を超えて解って下さって、アドバイスをいただきました。

国際看護師協会の会長になった時は、もう本当に破顔されて、顔がいっぱい笑顔になられて、「良かった。良かった」と「がんばりなさい」ということをおっしゃっていただいて、心強く思いました。

いろいろな人生には山あり、谷あり、私も苦勞した時には、いつも先生の笑顔を思い出して励まされました。

私は、聖路加時代に先生と出会ったので、星影のワルツを踊るとか、地区別理事会に行き皆で踊るとかというのは、本当はビックリしました。でも、そのうち一番初めに踊り始めました。先生のご指導が良かったからだと思います。私は、今でも踊れる時は、踊ります。先生のご薫陶によるものだと思います。清水先生もおっしゃいました。

平和の時代、ずっと私は季節の便りをいただきました。いただく前にお電話があって、「南さん、家にいるのはいつ?」とだけおっしゃるのです。「外国に行っていない?その頃は」とか、言われました。そして美味しいおいしい“カキ”だとか、“桃”だとか季節のものをお届けくださって、それでお礼のお電話をすると、その時のお声がとても明るくて、私は、ご病気のことも少し伺っていたのですが、何か、ご病気とそのお声がつながらなくて、「ああ、まだまだ元気でいてくださる」って思っていました。

今年、“桃”が届かなかったのです。私は、知りませんでした。でも、先生、私はいつも神戸から先生がここにいらっしゃるって思っています。また、これからもお導きくださいますよう、お願い申し上げます。先生、私も必ず向こうへ逝きます。一緒に踊りましょうね。また、ちょっとは上達して喜んでもらえるようになりたいと思います。本当に心から感謝申し上げ、安らかな旅立ちでありましたように、そして今は、心安らかに休んでいらっしゃいますようにお祈りして、挨拶とさせていただきます。



久常 節子様

元日本看護協会会長

久常節子元日本看護協会会長は、望月弘子先生の訃報を耳にしたとき、先生の好きだった「枯葉」の歌が流れてきた。この歌を捧げますと、先生への哀悼の意を込め、独唱されました。参列のみなさまは各々望月先生との思い出を回想し、感動していました。

♪ あれは遠い想い出
やがて消える灯影も
窓辺赤く輝き
光りみちたあの頃
時は去りて静かに
降りつむ落葉よ
夢に夢を重ねて
ひとり生きる悲しさ
木枯吹きすさび
時は還らず
心に歌うは
ああシャンソン 恋の唄

暮れ行く秋の日よ
金色の枯葉散る
つかの間燃え立つ
恋に似た落葉よ
何時の日か抱かれて
誓いし言葉よ
儚くただ散り行く
色あせし落葉
ラララ………
何時の日か抱かれて
誓いし言葉よ
儚くただ散り行く
色あせし落葉





内田 恵美子様

一般社団法人日本在宅ケア教育研究センター代表理事
株式会社日本在宅ケア教育研究所代表取締役



望月弘子先生、先生は変わらず私の中に生き続けております。「先生の生き方は」「私という生き方に」如何ほど影響を与えて下さいましたでしょうか。

「人を助けるということ」「人を生かすということ」「看護を生かすということ」「看護の視点で人や地域を生かすということ」に、こよなく卓越された先生に直接お会いでき薫陶をいただきましたことは、今の私の生き方の支えでございます。

平成元年、日本看護協会で訪問看護開発室長を任じられました際「山梨県看護協会創設の訪問看護事業」その事業が住民に如何に幸福という利益をもたらすか、県市町村への説得、潜在看護職の発掘と再雇用、再教育カリキュラム作りなど、一石を投じられました。その運用方法は、47都道府県に波及する礎となりました。我が国に看護職の手で訪問看護を全国に普及させ、赤ちゃんからお年寄りまで「いつでも・どこでも・誰にでも・24時間訪問看護を届けられるよう」5億円の出捐金を用意し「日本訪問看護振興財団設立と普及」に役員としてバックアップくださいました。現在約1万200の訪問看護ステーションがその目標を実現化しつつあります。

平成14年、私が一社会人として訪問看護事業の経営と実践・研究で再出発したいと「株式会社日本在宅ケア教育研究所」を創設し独立した際にも、役員として経営のご助言、31年間のお導きは、「信頼関係に基づく人の輪づくりによる人や地域を助ける医療や看護」の実践的薫陶でございました。人間関係作りのコンサルタント、エドガー・H・シャイン（米国社会心理学者）は、人を助ける信頼関係は「愛情・思いやり・認識・受容・賞賛・支援」としてありますが、先生は真に自然体で、柔らかいマインドで且ダイナミックにそのまま展開されておられました。今後も望月マインドを深く心に刻み、人や地域を生かす医療や看護、また経営の在り方を模索続けてまいります。ご指導誠にありがとうございました。



福井 トシ子様

公益社団法人 日本看護協会会長
(勝又浜子 日本看護協会専務理事 代読)



勝又浜子日本看護協会専務理事は、日本看護協会 福井トシ子会長の送る言葉を代読をされました。

望月弘子先生、望月先生の訃報に接し、わたくしどもの悲しみはこのうえなく、非常に残念でなりません。望月先生が残された数々のご功績を顧みるにつけ、かけがえのない方を失った哀惜の念に堪えない思いでいっぱいです。望月先生は、お会いするといつもにこやかに話をされ周りを大きく包むような包容力のある方でした。また、本会の理事会や職能委員会などで上京される際はいつも大きな荷物で、山梨県の銘菓や名産品といったお土産をたくさんお持ちになり、参加する方への気配りを忘れない優しい方であったと伺っています。

しかし、仕事のこととなると、とてもエネルギッシュな行動力をお持ちで、力強いパワーを発揮される頼もしい方でした。そのご功績として、母子保健の水準の向上や、住民の健康の保持増進に寄与する愛育班活動をライフワークとして全国に先駆けた取り組みの評価も高く、多大なご貢献を残されております。さらに、日本看護協会においては、保健師部会でのご活動はもとより、地区理事、保健師職能理事、副会長と長きにわたり、重要な役割を担ってられました。保健師職能理事として、地域保健法の全面施行にあつての業務指導を全国で行い、また、住民や他職種とともに健康課題に取り組み新たな地域保健活動や、保健師の役割と機能の確立において残されたご功績は非常に大きいと存じております。

先月、本会の地区別会議が無事に終わりました。その地区別会議でのエピソードとして、望月先生は、懇親会では必ず「シャボン玉とんだ」を可愛く踊り、そして最後には参加者全員が輪になって手を繋ぎ「星影のワルツ」と「今日の日はさようなら」を歌って、会を締められたと聞きました。とても懇親会らしく、みんなの心が一つになれたと当時の参加者はなつかしくお話をされていました。

最後に、望月先生のこれまでのお導きに心より感謝申し上げ、「今日の日はさようなら」の歌詞を添えてお別れの言葉といたします。

♪いつまでも絶えることなく 友達でいよう 明日の日を夢見て 希望の道を
今日の日はさようなら また会う日まで・・・

望月先生、本当にありがとうございました。どうか安らかに眠りください。

その他寄せられたメッセージ等は望月弘子名誉会長コーナーでご紹介しています。

レーネ・ホレンナー様

哀悼の辞—お別れにあたって

遠いデンマークの地で、悲嘆にくれて
最愛のそしてかけがいのない友、弘子との別れを受け入れようとしています。

弘子、あなたとの出会いは25年以上もの時をさかのぼります。
それは、天からの尊い贈り物であり、看護とともに患す朋友、洞察力に養われた、誰よりも大切な弘子、あなたとの生涯の友情の始まりでした。

私たちは、在宅看護と高齢者看護とともに情熱を注いできました。高齢者がその生涯を、
終焉に至るまで最前列で生き生きと活動できるようにエンパワーする高齢者看護です。

弘子、あなたは常に先見の明を持っていました。そういう中で、私たちは、これまで考えて
きたこと以上に緊急に検討し、取り組まなくてはならないケアの領域を見出したのです。
それは、「人々が生きて、死ぬまで自分の足で立つことができるようになる」という看護師
の役割です。それは、あなたが体験して見せてくれたことでもあります。

あなたは、私を助まし、本を書くように促してくれました。日本の看護学生のためのリハ
ビリテーションに関する本です。

昨年12月に伺った際には、全ての看護師の役割としてのリハビリテーションについて意
見を交わしました。患者のリハビリのためのトレーニングを常に意識に置いた看護をする
こと。世界中のすべての看護師の責務です。

弘子、あなたはすべての看護師のロールモデルです。「人は、皆、最期の日まで、活動をし
て、幸せに、そして自らの足で立てて生きることが望んでいるのです。」

弘子、あなたはその道を私たちに示してくれました。長期にわたる病のなかでのリハビリ
—その最期の日まで。

あなたは、私の心の中で特別な存在です。
う、私の心の中は、あなたとのすばらしい親交の思い出ばかりが生きなっています。

コロナ禍のため思ひ会に伺うことができなかったデンマークの旧友
LENE HOLLENDER



叙勲祝賀会
レーネ・
ホレンナー
先生と

紹介

偲ぶ会で上映され感動を呼んだ
望月弘子名誉会長の功績をまとめ
た、DVD(23分)です。ご希望者には、貸し出しも致します。

ドキュメント
—夢に向かって熱く生きた—
愛育と看護の星 望月弘子
脚本・演出 水木 亮



archive
アーカイブ

在りし日の 望月名誉会長の 思い出の記録



県政功労者
表彰受賞式



街頭キャンペーン 天野知事と



感謝のつどい 全員で合唱



看護教育研修センター 工事見学



笑顔のすてきな先生



感謝のつどい「星影のワルツ」を唄う名誉会長



創立50周年記念「今日の日はさようなら」